

2022 年度目標達成状況報告書（コンピュータサイエンス学部）

*自己評価は「S・A・B・C」の4段階で「S:十分満たしている、A:満たしている、B:概ね満たしている、C:満たしていない」

No.	評価基準		
1	年度目標	高度実践教育プログラムの設計・準備 ▶ 専攻制カリキュラムの完成と見直し ▶ 現行専攻制の見直し	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		S	
No.	評価基準		
2	年度目標	学生の自主的活動の支援 ▶ 教育環境整備予算の活用 ▶ 戦略的教育プログラムの充実	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		S	
No.	評価基準		
3	年度目標	学部・大学院の一体的改革 ▶ 大学院進学者増加 ▶ 学-修6年一貫教育の検討	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		C	

【年度目標達成状況総括】

2024 年度入学生に向けた専攻制の見直しとカリキュラムの再編について計画したため、年度目標「1」について十分な議論がなされ実施方針を立てることができた。また、大学からの教育環境整備費および戦略的教育プログラム実施予算により、年度目標「2」の学生の自主的活動の支援が充実したものとなった。より優秀な学生、やる気のある学生の満足度を高めるためにも、このような自主的な活動、学外での活動への支援を進めるとともに、年度目標「3」に挙げた大学院を視野に入れた高度な学修研究環境の組織・整備も引き続き検討していきたい。

【2022 年度目標の達成状況に関する大学評価】（自己点検評価委員会）

年度目標 3 件のうち 2 件は概ね達成されており、自己点検・評価は適正である。学部・大学院の一体的改革については、2023 年度も検討を継続し、コンピュータサイエンス学部の魅力あるプログラムを提供できるよう引き続き検討をお願いしたい。